

(7) 高圧安定管 (シャントレギュレーター管)

使用時期	シャントレギュレーター管	Tube-番号
1960(S35)~1968(S43)	6BK4	-533
1962(S37)~1966(S41)	6G-H4	-535
1964(S39)~1965(S40)	6G-H7	-536
1964(S39)~1971(S46)	6BK4A	-534
1966(S41)~1970(S45)	6BK4B	-537
1967(S42)~1969(S44)	12G-B7	-319
1968(S43)	6BK4B,6BK4A	-537,-534
1968(S43)	6FQ7(T)	-250
1968(S43)	6BQ5	-416
1969(S44)	6BK4A,6BK4B	-534,-537

Tube- 533:

6BK4

サンプル・メーカー	東京芝浦電気 (Toshiba)		GT38-30A
使用時期	1960(S35)~1968(S43)	初期使用機種	松下電器産業(K21-10)
使用回路	CTV:シャントレギュレータ	E_f [V] × I_f [mA]	6.3×200

特徴：プレート供給電圧=55,000V,プレート電圧=25,000V,プレート損失=25W,ピークグリット電圧=(負)400V,プレート電流(無負荷時)=1mA(直流出力=25,000V), (1mA負荷時)=45 μ A(直流出力=24,500V),X線用シールド装置が必要

経緯：東芝では、**6BK4**を1968(S43)年で廃止し、代替え品種として**6BK4A**に切替られた。(東芝真空管ニュース, No.8, 1968)



一部拡大



通電状態

Tube- 534:

6BK4A

サンプル・メーカー	東京芝浦電気 (Toshiba)	外形番号	GT38-36
使用時期	1964(S39)~1971(S46)	初期使用機種	東京芝浦電気(16WR)
使用回路	CTV:シャントレギュレータ	Ef [V] × If [mA]	6.3×200

特徴：プレート供給電圧=60,000V,プレート電圧=27,000V,プレート損失=30W,ピークグリット電圧=(負)440V,プレート電流(無負荷時)=1mA(直流出力=25,000V), (1mA負荷時)=45 μ A(直流出力=24,500V),X線用シールド装置が必要

経緯：東芝では、**6BK4**を1968(S43)年で廃止し、代替え品種として**6BK4A**に切替られた。
(東芝真空管ニュース, No.8, 1968)

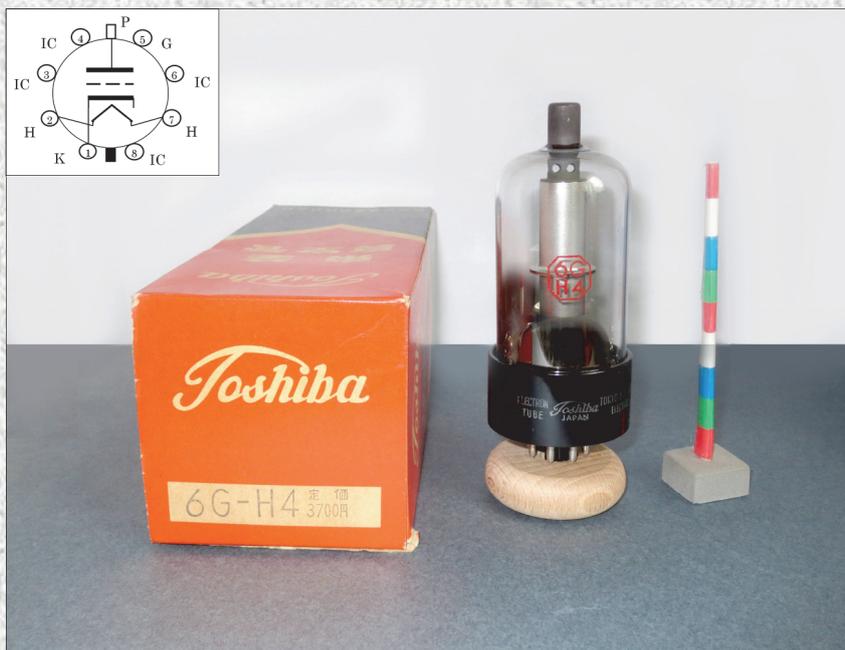


一部拡大



通電状態

Tube- 535、 Tube- 536:

6G-H4、 6G-H7

サンプル・メーカー	東京芝浦電気 (Toshiba)	外形番号	GT38-05
使用時期	1962(S37)~1966(S41)	初期使用機種	日本コロムビア(C17-T32)
使用回路	CTV:シャントレギュレータ	Ef [V] × If [mA]	6.3×200

特徴：**6G-H4**：プレート供給電圧=48,000V,プレート電圧=22,000V,プレート損失=20W,ピークグリット電圧=(負)440V,プレート電流 (1mA時) =グリット電圧(負)5.5V, (0.1mA時) =グリット電圧(負)32V,X線用シールド装置が必要

6G-H7：プレート供給電圧=45,000V,プレート電圧=22,000V,プレート損失=20W,ピークグリット電圧=(負)400V,プレート電流 (1mA時) =グリット電圧(負)4.0V, (0.1mA時) =グリット電圧(負)30V,X線用シールド装置が必要、**6BK4**より小型

経緯：**6G-H4** (東芝電子管ハンドブック,1962)、**6G-H7** (Hitachi Electron Tube Hand Book,1963)



一部拡大



通電状態

Tube- 537:

6BK4B

サンプル・メーカー	日立製作所 (Hitachi)	外形番号	GT38-36
使用時期	1966(S41)~1970(S45)	初期使用機種	日本ビクター(25CT-1006)
使用回路	CTV:シャントレギュレータ	Ef [V] × If [mA]	6.3×200

特徴：6BK4-Aと同一特性、特にX線対策がされている。

経緯：(東芝電子管ハンドブック,1969)



一部拡大



通電状態